

経営比較分析表（令和6年度決算）

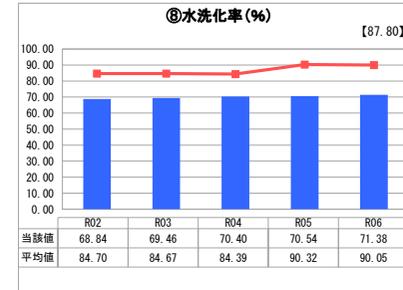
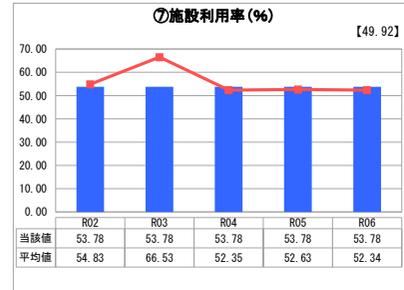
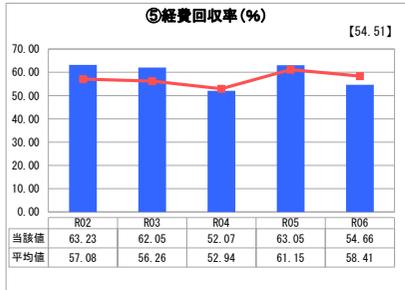
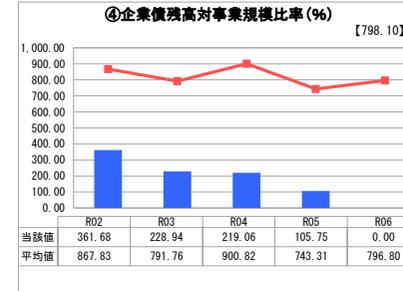
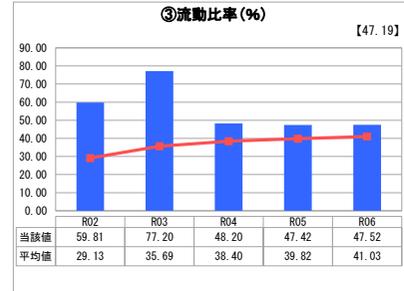
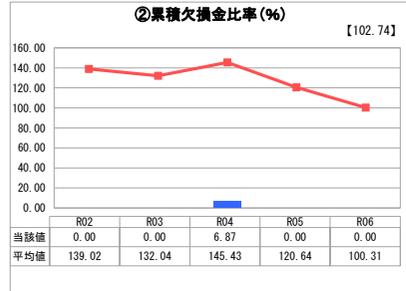
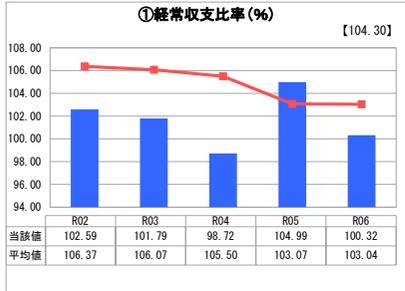
熊本県 玉名市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	65.78	10.86	100.00	3,613

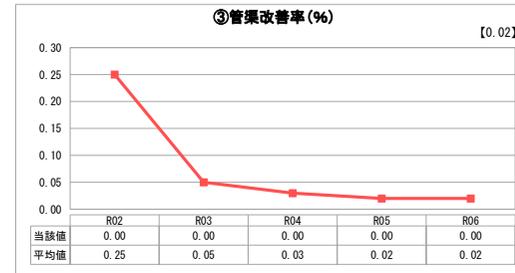
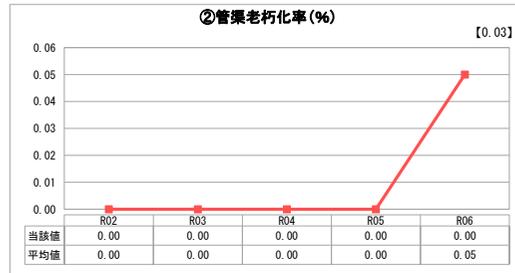
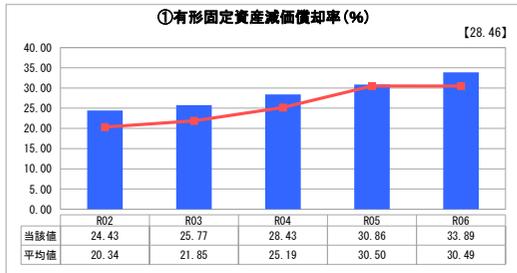
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
62,582	152.60	410.10
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
6,744	3.66	1,842.62

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・経営の健全率を超えており累積欠損金も生じていません。しかしながら、依然として基準外繰入金金の割合が高い厳しい経営状況であるため引き続き経営改善に取り組んでいく必要があります。
- ・流動比率は、全国平均及び類似団体平均値より高いものの100%に届いておらず、短期に現金化できる資産で短期負債を賄っていないため支払能力を高めるための経営改善が必要です。
- ・企業債残高対事業規模比率は、全国平均や類似団体平均値を大きく下回っているものの債務弁済財源の確保が厳しい経営状況にあります。
- ・経費回収率は、動力費、修繕費等の増加により類似団体平均値を下回っています。事業に必要な経費を使用料収入で賄えず、依然として繰入金に依存している状況です。安定経営に向けて使用料の適正化に努めていく必要があります。
- ・汚水処理原価は、全国平均及び類似団体平均値より低く推移しているが、経営状況を考えると更なる投資の効率化や維持管理費の削減、接続率の向上に努めていく必要があります。
- ・施設利用率は、全国平均及び類似団体平均値を上回っているが、今後も処理場の非効率性を検証し、適切な施設規模を維持する必要があります。
- ・水洗化率は、全国平均及び類似団体平均値を下回っており、引き続き接続勧奨を進め、適切な使用料収入と施設稼働を確保していく必要があります。

2. 老朽化の状況について

- ・有形固定資産減価償却率は、全国平均及び類似団体平均値を上回っており、増加傾向で推移しています。老朽化が進んでいる施設等の更新と適切な維持管理により下水道の機能確保に努めます。
- ・管渠老朽化率、管渠改善率は、対象となる老朽化管渠がないため0%となっています。本指標から老朽化についての懸念材料は検出されていません。

全体総括

- ・令和2年度農業集落排水施設最適整備構想及び令和3年度農業集落排水事業経営戦略のそれぞれの計画に基づいて事業運営を行っています。現状は、使用料収入だけでは維持管理費を賄えず、基準外の繰入金に依存した厳しい経営状況ではありますが、今後も処理場の改築更新等の大型事業が控えているため、今後も安定経営に向けて、効率的な施設整備と使用料の適正化の検討のほか、接続勧奨の推進に努め、経営基盤の強化に取り組んでまいります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。